

北大でも開始

北海道大学で17日、新型コロナウイルスワクチンの職域接種が始まった。

接種するのはモデルナ社製ワクチン。9月12日までの土日祝日に北大のほか、小樽商科大の学生・教職員の希望者に接種が行われる。約2万2000人分について確保できる見通しがついているという。

ダイキン社長「スピードが競争力」

小樽商科大学と日本経済新聞社は16日、同大110周年を記念して「ICT（情報通信技術）が北海道を日本の先端地域に変える」のテーマでセミナーを開いた。講演したダイキン工業の十河政則社長は「広大な北海道は行政オンライン化のメリットが大きい。新型コロナは日本がICT先進国に生まれ変わったきっかけにできる」と期待した。

同社は大阪大学と共に進めているデジタル人材の育成などを通じ、空調機器へのデータ活用も進めたい考え。十河社長は小樽商大の学生に「変化の幅が大きい時代。スピードが競争力の源泉」と話した。

小樽商大院でMBAを取得したインディテール（札幌市）の坪井大輔社長は、ICTを活用した農業の事業を紹介した。北海道のICT技術活用について「先端技術だけでは勝負できない。技術をどう使い誰に使つかが重要」と話した。

悲願の単独認定へ前進

商都から観光「物語性」評価

文化庁が16日に発表した日本遺産の「候補地域」に、市が単独で申請していた「北海道の『心臓』とよばれたまち・小樽」が選ばれた。文化財を活用した地域の取り組みなどが評価されれば、3年後に日本遺産に認定される。悲願の市単独認定に向けて再挑戦を得た関係者は「歴史文化を生かしたまちづくりの機運を高めたい」と意気込む。(谷本雄也)

狭き門、ほつとした

全国から20件の応募があり、小樽を含めた3件が選ばれた。「北海道の心臓」は、小樽ゆかりの作家小林多喜が隨筆でこう表現したことによる。小樽は、河や色内銀行街、北海製缶小樽工場第3工場など26件の文化財で構成。北日本随一の商都に発展した後、小樽運河保存運動を起機に観光都市に生まれ変わったと

市は既に「北前船資源地」と「炭鉄港」の構成自治体として認定されている。小樽市单独で申請した「北海道の心臓」は昨年6月に審査したが、今年3月に内容を一部見直して候補地域に申請していた。

北海道の 「心臓」小樽 日本遺産

日本遺産候補に選ばれた
「北海道の『心臓』とよ
ばれたまち・小樽」を構
成する北海製缶小樽工場
第3倉庫や小樽運河

たい」と話している。
また、文化厅は同日、日本遺産の「北前船と港町」に関する、北前船主らが徳富寺(塩谷)と塩谷神社(同)に奉納した「船繪馬」(計33面)を構成文化財に追加するこ^とを認めた。

日本本部 地域の道徳や伝統思想などの文化財を「ゾーニング」させ、抽出した「ゾーン一物語」を文化庁が認定する制度。認定されると、ガイドが施設講話などに対してもから財政支援が受けられる。新規認定は2015年度から始まり、2020年度に終了。全国では小樽など道内関係5件を認定し、10件を認定した。本年度から、候補に選定された後、正式な認定の書類を受けた組合が、今後も活動が不十分な道徳の認定を取り消す一方、活潑な候補地域を追加申請する。

申請内容の検討に携わ

討に携わ

新

型コロナ禍は小樽の飲食業界に大打撃を与えた

ました。政府や道、市は市民に外出自粛を呼びかけ、飲食店に営業時間短縮や酒の提供中止を要請。個性的な店が多い小樽の飲食業界でも、業績を落として廃業に追い込まれる店が出現した。

そうした中、宅配総合サイト運営の「出前館」（東京）が1月、小樽で「ショアリングデリバリー」サービスを始めたことは、小樽の飲食業界にとって一つの転機となりました。

ショアリングデリバリーとは、宅配機能を持たない複数の飲食店が、出前館などのプラットフォームが用意する配達行機能を共同利用する仕組みです。注文は飲食店と提携先の配達業者に伝達され、店は指定時間に調理し、配達員がお客様に届けます。人手不足の小規模店でも宅配をでき るようになったのです。

新型コロナ禍の中で一部の大手飲食チェーンは売上高や利益を伸ばしました。そし た企業と共にるのは持ち帰りや出前のサービスを強化

し、価値創造の場を店内から店外へ移すことに成功した」とです。注文データや、サイトに寄せられた口コミなどのデジタル情報を分析し、商品やサービスの向上にもつなげました。

中

國の古曲『易經』に「䷉

夬すれば必ずわち通ず、蹇すれば必ずなむち久し」という言葉があります。苦難が頂点に達した後は、変化を求めてこそ伸び続けることができ、変革こそが長続きするための道である、という意味です。

生活と仕事のあり方が変化し、フードデリバリー・サービスは時代の趨勢となるでしょう。小樽の飲食業界が店内飲食の伝統的なビジネスモデルにとらわれず、新しいプラットフォームを上手に活用することを期待します。今が変化の波に乗る時です。

（オウ・リョクユウ 小樽商大准教授=中國遠東省出身）

苦難の後は変化求めてこそ



王 力 勇